

五島市図書館友の会だより

第 18 号(2020.12 月)

「言葉のちから」

「絶望の虚妄なること、まさに希望に相同じい」これはハンガリーの詩人の言葉を、中国の作家、魯迅が引用して有名になったものですが、私は何か事ある事にこの言葉を噛み締めています。

日々の生活の中で、同じことを繰り返しつつ退屈な時間を過ごしていても、人それぞれに喜怒哀楽はあります。

喜び楽しいことより、悲しいこと、怒りが圧倒的に多いでしょう。その度に精神的に打ちひしがれ、世の中の良い事はないと思うけど少しの楽しい事があれば、また立ち直れます。そんな時に、絶望がただの虚妄であることは希望がそうであることと全く同じだよと思えるのです。

私流に解釈すれば、気もちようでどうにもなるし、絶望と希望とは背中合わせの表裏一体だと考えます。

良い事は長くは続かないけど、また悪い事も続かないよということです。

辛い時、友人からのひと言で、途端にブルーな心持になります。まさに言葉のちからです。これまで自分の言葉で、どれだけの人を傷つけてきたのかと反省しきりですが、ほんのちょっぴりでも友人を励ましたのも、言葉であることに間違いありません。

この言葉を豊かにし、感情を育むのは本を読むしかありません。近道はないのです。

今「五島むかしばなしを楽しむ会」では「五島弁かるた」を作成しています。

テレビ、インターネットの影響により、全国画一的に東京化して、言葉までもが標準語化され、若者特に子ども達は方言を使わなくなり、昔からの地域の言葉が廃れてきました。

何とか次の世代に五島弁を伝えていこうということで、「五島弁かるた」をつくり、活用したいと考えています。

あっぱかよ、びつつんみじよか、お一きんな等、たくさんの五島弁をちりばめています。

完成したら多くの皆さんに「五島弁かるた」を通じて五島弁を満喫してもらいたと思いますが、何せ多額の印刷代がかかります。そこで図書館友の会員の皆様にも寄付のご協力をお願いしたいと考えています。

あと二年後には、新図書館も完成する予定です。どうか計画通り供用開始されるよう祈るばかりです。二年後には孫と新図書館に通うのを楽しみに「言葉のちから」に磨きをかけます。

橋口 明敏(図書館友の会会員)(リレーエッセイ 17)



アートの広場 展示紹介



絵画 平山光枝個展

令和2年8月～9月展示

書 山田 正義（南風）
山本 博子（華心）

令和2年12月～令和3年1月展示



写真は図書館のホームページより

その時の課題や趣味の書・絵画・俳句など市民の皆様にご協力いただき2ヶ月交替で、図書館内玄関横に展示しています。展示をしてくださる方を募集しています。図書館（72-6900）か役員・市川（090-9723-8793）まで

蘭子さんのおすすめ絵本

その2

『ぼくは0てん』山縣良和作

いつも0点ばかりとるぼく。テストは大嫌い。好きなのはテストの裏に落書きすること。

いつも0点だから、いじめられるし好きなあの子にはふられるし。

ぼくはぐれた。やっとできた友達とちょっと悪いことをした。そして卒業の時、友達はくしゃくしゃになってごみ箱へ捨てられた。ゴミ箱には行きたくない。もう心がおれた。おれて、おれて……

小学校高学年の子供達や中学生におすすめです。高校生にも。





かわいい孫達のために冬までにマフラーや手袋を編もうとしたおばあちゃん。でも子供達は毛糸の玉で遊んだりワイワイガヤガヤうるさーい。

静かに編み物ができる場所を探し始めたおばあちゃん、あちこち行って山へ登ったり、最後はびっくりする場所へ。どこまで行く。さあ、おばあちゃんはどこまで行ったのかなあ？

可愛いお孫さんと一緒に読んでみて下さい。

武藤 蘭子（図書館友の会会員）



言葉を編む

これはパソコンなどが普及する前、ワードプロセッサが今のパソコンの数倍の値段だった頃のCMコピーです。

初めてこのコピーを目にした時、心の中で大きく頷きました。言葉を編む。織るではなく、編む。

中島みゆきのヒット曲に「糸」というのがあり、縦の糸と横の糸を人に例え、広い意味での人間愛が表現されているので、年代を問わずたくさんの人に人気があります。

私の大好きな歌ですが、歌唱力を誤魔化せない歌でもあるので、残念ながらまだまだ私には歌えません。



富江の障害者自立支援施設桑の実作業所では利用者の方々が

さおり織を作っていて、それぞれの利用者さんが糸の太さや色を選んでカタカタと織り機を動かしています。それぞれに個性のある布が出来上がっていきます。その布がバッグや帽子などに形を変えてお店などに並びます。織る事の面白さを感じます。

織るのは縦糸と横糸。

でも編むのは一本の糸。編み方も数えきれないほどあり、編み進めるうちにいろんな形に柔軟に変わっていく。模様も形も用途も無限に広がっていく。

日本語って文字がアルファベットを除くと三種類もあります。こういう言語は(たぶん)日本語だけです。漢字だけ、平仮名だけ、カタカナだけでは伝えきれないことも、これらを組み合わせることで伝えたい気持ちの機微まで表現できます。

そういった事を一言「言葉を編む」と表現した事に言葉の無限の可能性を感じます。

古賀 登茂子（図書館友の会会員）

新館建設ニュース

コロナ等で当初の予定より遅れています。令和3年3月着工、令和4年10月オープン予定。



23回読書会

令和3年1月21日（水）10:00～
図書館にて。

課題本予定『積極的 その日暮らし』落合 恵子著 同じ本を読み、自由に感想を話し合います。本は図書館にあります。

展示や簡単な作業をします

12月27日（日）・1月31日（日）
2月28日（日）午前10時～
毎月図書館休館日・図書館1階



崎山小学校から子どもたちのお礼状が届きました！

先の台風9・10号で崎山小学校図書室の本が雨等で使えなくなりました。そこで、当友の会の本年度中止になった「古本まつり」の児童書を寄付したところ、子どもたちから可愛いお礼状が届きました。古本まつりにご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

■今年度会費未納の方は会費をお納めください。（会計：市川）

■図書館友の会ホームページ

<https://gototosyokantomo.jimdo.com/>

ご意見をお待ちしています（担当：古賀）

編集後記

先ほど図書館に行くと、若いお父さんが乳母車を担いで、お母さんが赤ちゃんを抱き、小さい子の手を引き、1階から2階カウンターへ上っていく姿を見ました。

ほほえましくも・・・やるせない気持ちでした。

1日も早い新図書館オープンを望みたいものです。

K・S